

会議録

1 付属機関の名称

犬山市公民館運営審議会
(兼犬山市障害者の生涯教育連携協議会)

2 開催日時

令和6年2月15日(木)
午前10時から午前11時30分まで

3 開催場所

犬山市南部公民館 会議室1

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 久本浩子 山田昌宏 尾関雅嗣 鶴野隆浩
(欠席: 佐曾利吏佐)
- (2) 執行機関 坂野文化スポーツ課長 江口南部公民館館長
南部公民館 中島・鈴木
- (3) 助言者 加藤圭子(犬山市心身障害児(者)父母の会 会長)
伊藤久美子(犬山市障害者機関相談支援センター長)
奥谷福祉課主幹

5 議題

- (1) 今年度の事業実績及び今後の公民館事業について
(2) その他

6 内容

- (1) 今年度の事業実績及び今後の公民館事業について
事務局からの説明

<委員質疑>

委員: 公民館において、生涯学習の展開のため職員が精力的に取り組まれていることに感謝する。1DAY講座についてお伺いしたい。参加者について、どういった属性の方が参加されているか。また、講座の開催は平日の昼間か。

事務局: 参加者の中で多いのは60~70歳代の女性である。平日に仕事があるような世代や若年層に向けて、今年度は土日祝に講座の開催をしたところはあるが、やはり参加者は同様の属性が多かった。新たなジャンルの講座の開設も考えながら、土日に開講する場合の周知方法なども検討していくたい。

委 員：市民ギャラリーを実施する中で、日程調整で苦慮することはないか。また、日程はどのように決められているのか。

事務局：趣旨が「初めて展示会を企画する方への支援」であるため、日程を聴取した中で重複があった場合は初参加の方を優先しているところである。日程については、展示会の繁忙期である秋を極力避けながら、展示室を利用するような大型催事と調整して決定している。

(助言者の3名が参加)

○ 今年度の公民館特別講座について
事務局からの説明・記録動画の放映

<委員質疑等>

助言者：まずは講座の開設についてお礼を申し上げる。今回の講座を通じて仲間と一緒に作品づくりができるので、日曜日をすごく楽しみにしていた。土日はなかなか楽しみが無かったので、やはりこういった事業があることはありがたい。

助言者：障害を持った方が参加できる場所というのは非常に大切である。行政としても「場づくり」が大事だと思っており、今後とも公民館でこういった活動を続けていただきたい。

助言者：動画でも非常に参加者が楽しそうにしていたのが印象的である。やはりこういった余暇を考えるということが重要かと思う。

委 員：羊毛フェルトワークショップについて、学生の関わりはどうだったか。

助言者：今回、実際に来館できたのは展示会の準備だけではあったが、10回の講座の中で状況を共有しながら、展示のアイデアやレイアウトを一緒になって考えていただいていた。展示会の際には前から知っていたかのようにお話をすることができた。

委 員：最近は学生も家庭環境の変化により、学費を稼ぐため土日はアルバイトなどでボランティア活動などに参加できない学生も増えている。

委 員：活動状況がみえるようになっていることが素晴らしい。ぜひ広く展開するとともに、犬山市の福祉活動の目玉としてアピールしていただければ。また、他の会館での催事と展示会のコラボができるとなお良いと思う。

委 員：理想論で言えば、障害をお持ちの方が、参加するプログラムを自分で「選択」できるとなお良いと思う。

委 員：この報告を見て、一番素晴らしいのは「地域連携による」という言葉である。ぜひ自分も何らかの形で参加できればと思う。

令和 6年 3月 ~~火~~ 日

上記に相違ないことを確認する。

(署名) 鶴野 隆浩

(署名) 久本 浩子